



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日 東

上場会社名 株式会社エスクリ 上場取引所
 コード番号 2196 URL <http://www.escrit.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 岩本 博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員管 理本部長 (氏名) 高梨 宏史 (TEL) 03-3539-7654
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,341	13.8	△201	—	△217	—	△146	—
27年3月期第1四半期	4,692	37.5	268	50.0	243	50.0	144	54.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △145百万円(—%) 27年3月期第1四半期 143百万円(53.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△12.36	—
27年3月期第1四半期	12.37	12.17

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失が計上されているため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	21,669	4,913	22.6
27年3月期	19,930	5,121	25.6

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 4,896百万円 27年3月期 5,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,089	18.3	△635	—	△681	—	△480	—	△40.67
通期	27,468	18.3	2,010	△16.9	1,923	△18.3	1,197	△16.8	101.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	11,831,400株	27年3月期	11,821,500株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	652株	27年3月期	652株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	11,825,038株	27年3月期1Q	11,684,483株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料および四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、平成27年8月11日（火）に機関投資家およびアナリスト向け説明会を開催する予定です。その模様および説明内容（音声）については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとする各種政策効果もあり、円安による輸出の持ち直しや労働市場の改善等、緩やかな景気回復基調が続いております。一方で、国内においては消費税率の引き上げが控えていること、また海外では、欧州における債務問題や米国における金融引き締め観測などもあり、先行きに関しては、依然として不透明さが残る状況と判断しております。

このような環境下、当社グループは主力事業であるブライダル事業において「Faithful Bridal Creator」のローガンを掲げ、施設スタイルにこだわらず、東京23区および政令指定都市を中心とした利便性の高いエリアに展開した直営の挙式・披露宴施設の運営を継続してまいりました。また、運営受託事業や子会社を通して、地方を含めた新たな地域、施設への展開を強化するなど、ブライダルマーケットにおけるシェア拡大戦略を進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,341百万円(前年同四半期比13.8%増)、営業損失201百万円(前年同四半期は268百万円の利益)、経常損失217百万円(前年同四半期は243百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失146百万円(前年同四半期は144百万円の利益)となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

(ブライダル事業)

前連結会計年度に開業した「アルマリアン TOKYO」および「アヴェニールクラス TOKYO」(ともに、東京都豊島区池袋)および「ラグナヴェール SENDAI」および「アンジェリオン オ プラザ SENDAI」(ともに、宮城県仙台市)の業績貢献がある一方で、当期開業予定施設の開業準備に伴う負担増加に加え、前連結会計年度の受注が伸び悩んだことによる影響もあり、ブライダル事業の売上高は4,156百万円(前年同四半期比18.3%増)、セグメント利益は72百万円(同84.1%減)となりました。

(建築・内装事業)

店舗内装、個人住宅などにおける工事の完成があったこと等により、建築・内装事業の売上高は501百万円(前年同四半期比27.5%減)、セグメント利益は41百万円(同29.5%減)となりました。

(その他の事業)

その他の事業においては、施設稼働率の向上に寄与する法人向けの宴会サービス「ウィズクリ」や宿泊事業、レストラン事業などが売上を伸ばしたことなどにより、売上高は683百万円(前年同四半期比39.9%増)、セグメント利益は23百万円(同78.7%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,739百万円増加して、21,669百万円となりました。これは主にみや美株式会社を連結子会社化したことに伴い、現金及び預金が220百万円増加したこと、有形固定資産が1,158百万円増加したこと、敷金及び保証金が206百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,947百万円増加して、16,756百万円となりました。これは主に当連結会計年度において開業予定の事業所にかかる設備資金等の借入れにより、短期借入金が633百万円増加したこと、長期借入金が1,721百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ207百万円減少して、4,913百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を146百万円計上したこと、前事業年度の期末配当65百万円を実施したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月12日付の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差
額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更
いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の
確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させ
る方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の
変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度につい
ては、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。企業結合会計基準等の適用については、
企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定
める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,821,803	5,042,139
受取手形及び売掛金	350,607	259,049
完成工事未収入金	209,027	207,434
販売用不動産	298,822	292,802
商品及び製品	80,519	108,132
原材料及び貯蔵品	60,958	65,584
未成工事支出金	98,036	119,387
その他	550,836	680,325
貸倒引当金	△13,762	△9,394
流動資産合計	6,456,849	6,765,462
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,998,446	8,769,423
その他	1,741,079	2,128,757
有形固定資産合計	9,739,526	10,898,181
無形固定資産		
のれん	309,738	292,101
その他	278,275	267,509
無形固定資産合計	588,013	559,611
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,554,582	2,760,946
その他	606,363	706,260
貸倒引当金	△15,182	△20,658
投資その他の資産合計	3,145,763	3,446,548
固定資産合計	13,473,303	14,904,340
資産合計	19,930,153	21,669,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,191,611	961,653
短期借入金	—	633,334
1年内返済予定の長期借入金	2,192,423	2,522,816
未払金	900,132	885,512
前受金	827,437	1,054,907
その他	1,884,824	1,258,286
流動負債合計	6,996,429	7,316,508
固定負債		
長期借入金	6,344,347	7,735,778
資産除去債務	1,308,055	1,510,684
その他	160,099	193,239
固定負債合計	7,812,501	9,439,701
負債合計	14,808,931	16,756,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	573,903	575,627
資本剰余金	531,903	533,627
利益剰余金	3,994,944	3,783,775
自己株式	△187	△187
株主資本合計	5,100,564	4,892,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,188	3,368
その他の包括利益累計額合計	3,188	3,368
新株予約権	17,469	17,380
純資産合計	5,121,222	4,913,592
負債純資産合計	19,930,153	21,669,802

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,692,191	5,341,173
売上原価	1,971,980	2,265,826
売上総利益	2,720,210	3,075,347
販売費及び一般管理費	2,452,168	3,276,862
営業利益又は営業損失(△)	268,042	△201,515
営業外収益		
受取賃貸料	1,002	1,002
為替差益	754	8,075
デリバティブ評価益	—	7,264
その他	1,421	2,495
営業外収益合計	3,177	18,837
営業外費用		
支払利息	18,275	25,870
その他	9,794	8,696
営業外費用合計	28,070	34,567
経常利益又は経常損失(△)	243,149	△217,245
特別利益		
負ののれん発生益	—	17,364
新株予約権戻入益	3,142	—
特別利益合計	3,142	17,364
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	246,291	△199,881
法人税、住民税及び事業税	33,225	19,966
法人税等調整額	68,579	△73,693
法人税等合計	101,805	△53,726
四半期純利益又は四半期純損失(△)	144,486	△146,154
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	144,486	△146,154

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	144,486	△146,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△639	179
その他の包括利益合計	△639	179
四半期包括利益	143,846	△145,974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,846	△145,974

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ブライダル	建築・内装	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,512,276	691,589	4,203,865	488,326	4,692,191	—	4,692,191
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	26,399	26,399	13,404	39,803	△39,803	—
計	3,512,276	717,988	4,230,264	501,730	4,731,995	△39,803	4,692,191
セグメント利益	453,665	59,517	513,182	109,680	622,863	△354,820	268,042

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宿泊事業及び宴会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△354,820千円には、のれん償却額△14,656千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△340,164千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)4
	ブライダル	建築・内装	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,156,436	501,566	4,658,002	683,170	5,341,173	—	5,341,173
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	40,510	40,510	17,493	58,003	△58,003	—
計	4,156,436	542,076	4,698,513	700,663	5,399,176	△58,003	5,341,173
セグメント利益	72,095	41,989	114,084	23,354	137,439	△338,954	△201,515

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宿泊事業及び宴会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△338,954千円には、セグメント間の未実現利益の調整額1,550千円、のれん償却額△17,636千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△322,868千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 当第1四半期連結会計期間において、みや美株式会社の全株式を取得しており、「ブライダル」の区分に含めて記載しております。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

重要性が乏しいため記載を省略しております。